平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名　株式会社データホライゾン　　上場取引所　東
コード番号　3628　URL　http://www.dhorizon.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 内海　良夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長　(氏名) 内藤　慎一郎　TEL 082-279-5525

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,087	△12.8	△341	―	△344	―	△320	―
24年3月期第3四半期	1,247	△5.1	△206	―	△212	―	△177	―

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　△320百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△177百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△92.11	―
24年3月期第3四半期	△50.96	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,228	735	59.8
24年3月期	1,748	1,072	61.3

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　734百万円　24年3月期　1,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	5.00	5.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	11.8	8	△88.6	5	△91.4	0	△100.0	0.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	3,557,060 株	24年3月期	3,557,060 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	78,808 株	24年3月期	78,808 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	3,478,252 株	24年3月期3Q	3,478,257 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

頁

１．　当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１） 連結経営成績に関する定性的情報…… 2
（２） 連結財政状態に関する定性的情報…… 3
（３） 連結業績予想に関する定性的情報…… 3
２．　サマリー情報（注記事項）に関する事項…… 4
（１） 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動…… 4
（２） 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用…… 4
（３） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…… 4
３．　四半期連結財務諸表…… 5
（１） 四半期連結貸借対照表…… 5
（２） 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 7
四半期連結損益計算書…… 7
四半期連結包括利益計算書…… 8
（３） 継続企業の前提に関する注記…… 9
（４） 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記…… 9
（５） 四半期連結財務諸表に関する注記事項…… 9
（セグメント情報等）…… 9
４．　補足情報…… １１
販売の状況…… １１

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１） 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、10億87百万円(前年同期比12.8%減)となりました。しかしながら、今後の事業拡大の柱となる国民健康保険向けの売上高が、販売活動の体制強化などにより大幅に増加し、保険者向け情報サービスの売上高は、４億33百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

損益面におきましては、当期も売上高が第４四半期に偏重し、減収による売上総利益の減少と連結子会社コスモシステムズ㈱が販路拡大のために九州支店を開設したことなどにより販売費及び一般管理費が増加し営業損失３億41百万円(前年同期は２億６百万円の営業損失)、経常損失３億44百万円(前年同期は２億12百万円の経常損失)、四半期純損失は３億20百万円(前年同期は１億77百万円の四半期純損失)となりました。

四半期純損失が前年同期と比較して大幅に増加した要因は、「繰延税金資産の回収可能性の判断に関する監査上の取扱い」に基づき、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部の取り崩しを行ったことによるものであります。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

① 医療関連情報事業

当第３四半期連結累計期間における医療関連情報事業の売上高は10億77百万円（前年同期比12.8%減）となりました。また、セグメント損益につきましては、減収および連結子会社の支店開設などによる販売費及び一般管理費の増加などにより、97百万円のセグメント損失（前年同期は70百万円のセグメント利益）となりました。

売上高の内訳は、次の通りであります。

a. 医療関連情報サービス

保険者向け情報サービスにおいては、前期より国民健康保険への販売活動の体制強化を行い、当期も引き続き市区町村などの保険者を中心に営業活動を積極的に進めてまいりました結果、国民健康保険からの受注が大幅に増加いたしました。一方、健康保険組合からの受注は大手企業の健康保険組合からの受注一巡により減少となりましたが、国民健康保険からの受注増加がそれを上回り、保険者向け情報サービスの売上高は、４億33百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

また、製薬会社向けのサービスなどの、その他の医療関連情報サービスの売上高は、15百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

これらの結果、医療関連情報サービスの売上高は、４億48百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

b. 医療関連情報システム

保険薬局向けシステムにおいては、新製品の提供の遅れにより買換需要に対応できないなか、既存顧客へのオプションの販売強化や連結子会社コスモシステムズ㈱の九州支店開設による新規顧客の開拓などを行ってまいりましたが、売上高は前年同期から減少し３億79百万円(前年同期比28.2%減)となりました。

また、病院向けシステムにおいては、医科向けの仕入商品の販売に注力してまいりました。

当第３四半期連結累計期間における売上高は、検収が第４四半期に集中することなどから前年同期より若干減少し２億８百万円(前年同期比7.6%減)となりました。

その他の医療関連情報システムの売上高は41百万円（前年同期比31.9%減）となり、これらの結果、医療関連情報システムの売上高は６億29百万円（前年同期比22.8%減）となりました。

② その他

その他の事業の売上高は９百万円(前年同期比 16.6%減)、セグメント損失は０百万円（前年同期は１百万円のセグメント利益）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第３四半期末の流動資産の残高は、７億 50 百万円となりました。前連結会計年度末の売掛金の回収により受取手形及び売掛金が５億 37 百万円減少しましたが、借入金の返済や法人税等の納付などにより現金及び預金の増加は 72 百万円にとどまりました。このほか、繰延税金資産の増加などにより、流動資産全体では前連結会計年度末に比べて３億 55 百万円の減少となりました。

また、固定資産の残高は、委託開発の中止に伴うソフトウエア仮勘定の取り崩しおよび減価償却による減少、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産の取り崩しによる減少などにより前連結会計年度末に比べて１億 63 百万円減少し、４億 78 百万円となりました。

なお、有形固定資産の増加は、第２四半期連結会計期間において本社が所在している土地を所有する協同組合との土地売買予約契約の実行により、投資その他の資産から 63 百万円を振り替えたものであります。

これらの結果、当第３四半期末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて５億 19 百万円減少し、12 億 28 百万円となりました。

(負債)

当第３四半期末の流動負債の残高は、借入金の返済、買掛金の支払いならびに法人税等の納付などにより、前連結会計年度末に比べて２億 13 百万円減少し、３億 43 百万円となりました。

また、固定負債は、連結子会社コスモシステムズ㈱が仕入商品の販売の拡大に備えて長期借入金による資金調達を行ったため、前連結会計年度末に比べて 31 百万円増加し、１億 49 百万円となりました。

これらの結果、当第３四半期末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて１億 81 百万円減少し、４億 93 百万円となりました。

(純資産)

当第３四半期末の純資産の残高は、四半期純損失３億 20 百万円および配当金の支払い 17 百万円により利益剰余金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ３億 37 百万円減少し、７億 35 百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成 24 年５月 11 日付「平成 24 年３月期決算短信」で公表いたしました平成 25 年３月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成 24 年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第３四半期連結累計期間の営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	302,407	374,433
受取手形及び売掛金	716,736	179,201
仕掛品	7,793	38,108
原材料及び貯蔵品	12,629	14,643
繰延税金資産	28,456	125,004
その他	43,344	20,575
貸倒引当金	△4,973	△1,447
流動資産合計	1,106,392	750,515
固定資産		
有形固定資産	155,725	209,472
無形固定資産		
ソフトウエア	155,601	134,935
ソフトウエア仮勘定	63,000	7,600
のれん	3,162	2,011
その他	792	792
無形固定資産合計	222,555	145,338
投資その他の資産	263,383	123,471
固定資産合計	641,663	478,281
資産合計	1,748,055	1,228,796
負債の部		
流動負債		
買掛金	108,329	53,994
短期借入金	180,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	6,437	31,545
未払法人税等	31,958	306
賞与引当金	44,016	21,927
その他	186,669	176,121
流動負債合計	557,409	343,894
固定負債		
長期借入金	4,544	58,730
退職給付引当金	37,907	38,618
その他	75,606	52,433
固定負債合計	118,057	149,781
負債合計	675,466	493,674

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	454,200	454,200
資本剰余金	154,200	154,200
利益剰余金	516,463	178,704
自己株式	△52,501	△52,501
株主資本合計	1,072,361	734,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,627	373
為替換算調整勘定	△1,857	△108
その他の包括利益累計額合計	△230	266
少数株主持分	458	253
純資産合計	1,072,589	735,122
負債純資産合計	1,748,055	1,228,796

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	1,247,655	1,087,559
売上原価	784,541	694,411
売上総利益	463,114	393,148
販売費及び一般管理費	669,698	735,135
営業損失（△）	△206,584	△341,987
営業外収益		
受取利息	17	65
受取配当金	561	397
為替差益	－	159
助成金収入	590	250
貸倒引当金戻入額	2,855	3,526
雑収入	1,176	3,614
営業外収益合計	5,199	8,011
営業外費用		
支払利息	2,805	3,180
為替差損	768	－
持分法による投資損失	7,383	7,473
その他	1	－
営業外費用合計	10,956	10,652
経常損失（△）	△212,341	△344,629
特別利益		
持分変動利益	－	2,013
保険解約返戻金	9,590	－
特別利益合計	9,590	2,013
特別損失		
固定資産除却損	4,828	855
特別損失合計	4,828	855
税金等調整前四半期純損失（△）	△207,579	△343,471
法人税、住民税及び事業税	16,793	3,750
法人税等調整額	△47,134	△26,630
法人税等合計	△30,340	△22,880
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△177,239	△320,591
少数株主利益又は少数株主損失（△）	9	△224
四半期純損失（△）	△177,247	△320,367

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△177,239	△320,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	178	△1,253
為替換算調整勘定	△384	1,769
その他の包括利益合計	△206	515
四半期包括利益	△177,445	△320,076
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△177,412	△319,871
少数株主に係る四半期包括利益	△32	△204

(3)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5)四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１.報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する事項　（単位：千円）

	報告セグメント	その他 (注)１	合計	調整額 (注)２	四半期連結損益計算書計上額 (注)３
	医療関連情報事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,236,114	11,541	1,247,655	－	1,247,655
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,236,114	11,541	1,247,655	－	1,247,655
セグメント利益	70,310	1,380	71,690	△278,273	△206,584

(注)１.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療関連以外のシステムのリプレース等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△278,273千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１.報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する事項　（単位：千円）

	報告セグメント	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	医療関連情報事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,077,934	9,625	1,087,559	－	1,087,559
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,077,934	9,625	1,087,559	－	1,087,559
セグメント損失（△）	△97,224	△266	△97,490	△244,497	△341,987

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療関連以外のシステムのリプレース等を含んでおります。

２．セグメント損失の調整額△244,497千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２.報告セグメントの変更等に関する事項

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第３四半期連結累計期間のセグメント損失に与える影響は軽微であります。

３.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

４．補足情報

販売の状況

当第３四半期連結累計期間の販売実績をサービス・製品の区分ごとに示すと、次の通りであります。

（サービス・製品別売上高）

サービス・製品の名称	前第3四半期 連結累計期間 自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日		当第3四半期 連結累計期間 自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日		増　減	
	販売高 （千円）	構成比 （%）	販売高 （千円）	構成比 （%）	金額 （千円）	増減率 （%）
保険者向け情報サービス	394,522	31.6	433,623	39.9	39,101	9.9
その他	27,150	2.2	15,300	1.4	△11,850	△ 43.6
医療関連情報サービス	421,672	33.8	448,923	41.3	27,251	6.5
保険薬局向けシステム	528,594	42.4	379,555	34.9	△149,039	△ 28.2
病院向けシステム	225,100	18.0	208,074	19.1	△17,026	△ 7.6
その他	60,748	4.9	41,381	3.8	△19,367	△ 31.9
医療関連情報システム	814,442	65.3	629,010	57.8	△185,432	△ 22.8
医療関連情報事業	1,236,114	99.1	1,077,934	99.1	△158,181	△ 12.8
その他	11,541	0.9	9,625	0.9	△1,916	△ 16.6
合計	1,247,655	100.0	1,087,559	100.0	△160,096	△ 12.8

（注）記載金額は、千円未満を四捨五入して記載しております。